

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人陽和福祉会	代表者	福井 雅子	法人・事業所の 特徴	利用者がその居宅において、可能な限り自立した生活を過ごすことができるよう、通い、訪問、宿泊の各サービス形態で居宅サービス計画に基づき必要な日常生活上の援助を行うことにより、利用者の支援を行い、利用者の孤独感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体及び精神的負担の軽減を図るものとする。また、「小規模多機能型居宅介護事業所どんぐりの森」ならではの特色ある事業運営に努めていく。
事業所名	どんぐりの森	管理者	本木 孝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	人	2人	1人	3人	2人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	長期で利用されている方へのサービスを振り返り、常に利用者本位のサービス提供に努めていく。	排泄や入浴などの介助については、見直しを行い最善のサービスを提供できるようにしている。他にも季節の行事や誕生日会なども行い、常に楽しんで頂けるように努めていました。	・朝、夕の申し送り、月1回のモニタリングや会議をしっかりと位置付けることで利用者のケアサービス提供等の情報共有を行う事ができていて素晴らしい。 ・地域の社会資源の活用には包括を利用することも考えてはどうか。	各利用者の担当がケアマネと情報共有や連携をしっかりと行い、利用者に合わせたサービス提供に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	フロアや倉庫などの整理整頓に努めるとともに、かざり付けなど環境整備に心掛けていく。	フロアや倉庫などは定期的に見直しを行い、必要に応じて棚などを購入し整理整頓に努めていました。フロアの飾り付けは、年度初めに季節ごとの飾り付けを計画しそれに沿って利用者と一緒に作成し飾っていくことができました。	・まずは、取り組みやすいサ高住と連携を図りながら、広く地域との関係作りを進めていくことは良い方法だと思う。	フロアや倉庫、事務所など整理整頓に努め、また、使いやすいように環境を整えていく。古い書類の整理。
C. 事業所と地域のかかわり	小規模多機能で家族様を含めた食事会などの行事をお知らせし、参加して頂くようにする。また、地域の防災訓練などに参加して地域との関わりを深めていく。	夏祭りなどの大きな行事の際には家族様へ連絡をして参加をして頂けたが、食事会などは実施することができませんでした。また、地域の防災訓練などへの参加もできませんでした。	・事業所の取り組みや考え方をまず家族に理解してもらい、協力を得られるよう進めていくことは必要である。そこから地域資源の発掘や広報宣伝活動へと発展させ、地元根付いた事業所としての役割を果たしてほしい。	夏祭りなど季節の行事以外にもオレンジカフェなど、普段から行っている行事やレクにも家族様が参加して頂けるようにする。地域住民へのPR。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベント情報を把握し、利用者とともに参加することにより、本人の地域での暮らしを支援していく。	地域包括や相談員より地域のイベントの情報を把握するように努力しましたが、職員配置などにより、あまり参加することができませんでした。	・集団として、取り組みが難しい場合は、個別支援より取り組む。	地域包括や相談員より地域のイベント情報を把握し、参加できる行事については事前に職員配置や応援を考えて対応できるように努めていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議委員からいただいた、意見を踏まえ、反映に努めていく。	運営推進会議開始時に、行事などをスライドで紹介することで、取り組みについて理解してもらえるように努めているが、小規模多機能についての意見がほとんどなく、反映させることができませんでした。		小規模多機能の情報を随時報告し、それを踏まえた運営推進会議の意見を参考にさせて頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	防災マニュアルに基づき、定期的な避難訓練、消防訓練を実施していく。	年2回の避難訓練を行い、また、そこで消防訓練を行うことで全職員が防災について周知徹底することができました。	・地域の防災訓練への参加。地域住民への事業所の訓練への参加、協体制の構築。	現在の利用者に合わせて避難経路、マニュアルなどを定期的に確認し対応に努めていく。